

2010年度日本気象学会関西支部第2回例会（四国地区）プログラム

日時：2010年12月18日（土）13時00分～18時20分

場所：愛媛県県民文化会館（ひめぎんホール）第5・第7会議室

1300 開会

開会挨拶

地区理事（四国）森 滋男（高松地方気象台）

（*は発表者を示す）

一般講演 1題20分（講演17分+質疑3分）

1310-1430 一般講演セッション1

座長：西川 敦（愛媛大学）

1. 四国における線状降水帯の統計的抽出

*鶴沼 昂（高知大学大学院）・村田文絵（高知大学理学部門）

2. 2010年7月12日の愛媛県地方の大雨について～松山における大雨の成因と降水域の移動に関する考察を中心に～

*一 広志（日本気象予報士会四国支部）

3. 実況とJMANHMを用いた再現実験結果との比較について（2006年9月6日の高知県沿岸に発生した線状降水帯）

*田中滋司・水野善夫・福原正明（高松地方気象台）・宇野田隆司（岡山地方気象台）

4. メソアンサンブル（MSV法）メンバーの比較調査（2006年9月6日の高知県沿岸に発生した線状降水帯）

*山岡和弘・水野善夫・濱田浩一・田中滋司・山西大輔・福原正明（高松地方気象台）

1430-1445 休憩

1445-1605 一般講演セッション2

座長：森 滋男（高松地方気象台）

5. やまじ風発生日の高知における高層観測の解析結果

村田文絵（高知大学理学部門）・*日浦泰平・黒岩大亮（高知大学理学部）・佐々浩司（高知大学理学部門）

6. 2010年8月11日に高知県香南市で発生した竜巻について

*濱口祥輝（高知大学理学部）・堀場晃平（高知大学大学院）・佐々浩司（高知大学理学部門）

7. 四国の局地気候の変動

*西川 敦（愛媛大学農学部）

8. 九州付近における梅雨降水の2000年頃以降の変化 一日々の降水域の南北の広がり注目してー

*大谷和男・加藤 内藏進（岡山大学大学院 教育学研究科）

1605-1620 休憩

1620-1815 シンポジウムセッション

防災への新たなアプローチ ―最近の防災気象情報や四国の気象学研究の動向―

コーディネーター：佐々浩司（高知大学理学部門）

パネリスト：渡辺志伸（高知地方気象台）・寺尾 徹（香川大学教育学部）・横林良純

（NHK松山放送局）・水野善夫（高松地方気象台）

1620-1625 趣旨説明

1. シンポジウム概要

*佐々浩司（高知大）・森 滋男（高松地台）・寺尾 徹（香川大）

基調講演 1 題20分（講演17分＋質疑3分）・補足説明 1 題10分（講演8分＋質疑2分）

1625-1725 基調報告

2. 防災気象情報改善のための技術基盤

*渡辺志伸（高知地台）

3. 四国の気象災害の特徴とその変動

*寺尾 徹（香川大）

4. 新しい防災気象情報の報道の工夫

*横林良純（NHK松山放送局）

1725-1805 意見交換・補足説明

方向づけ

コーディネーター

5. 四国の地域特性と予報業務

*水野善夫（高松地方気象台）

6. 「やまじ風」の量的予測情報

*長谷川和美（松山地方気象台）

意見交換

パネリスト

1805-1815 まとめ

コーディネーター

閉会挨拶
1820 閉会

地区理事（四国）寺尾 徹（香川大学）